

【メンテナンスについて】

1. 使用後は、天幕と本体フレームの汚れを落とし、よく乾かしてから収納してください。天幕の汚れが酷くなると美観を損なう上、耐候性・耐久性も悪くなります。
また、定期的には中性洗剤の希釈水を使って汚れやクスマを拭き取り、天幕や本体フレームに洗剤が残らないように濡れ雑巾等で拭き上げ、よく乾かしてください。
シンナーやアルコール類は素材や生地を傷める原因となりますので、絶対に使用しないでください。
2. 塗装部のはがれや錆を発見した場合は、市販の補修用品で早期に塗装や錆止め等の補修を行ってください。
3. ボルト各部やネジ等の緩みがないか定期的にチェックを行い、緩みを見つけた場合は適正な大きさのプラスドライバーで締め直してください。その際、締めすぎますとネジが空まわりして壊れるおそれがありますので、適度に締めてください。
4. 天幕の生地は経年劣化してきます。防水効果も低下しますので、市販の防水スプレーや目止剤を定期的に塗布することをお勧めします。また、キズや穴ができた場合はシーラー剤等を使用して補修を行ってください。
天幕単品をお求めの場合は、お買い求めになった販売店へお問い合わせください。
5. 天幕を濡れた状態や高温多湿な場所に長期保管されると、色うつりや天幕同士がひっついたりすることがございます。定期的に広げてメンテナンスを行ってください。

【保管場所について】

- 本品を保管の際は、直射日光を避け、雨があたり風通しの良い湿気の少ない場所に保管してください。

【仕様】

品番	サイズ	全高	収納サイズ	重量
SS-TNT-1212T-C	1.2×1.2m	204~214cm	26×26×151cm	19.0kg
SS-TNT-1818T-C	1.8×1.8m	204~214cm	26×26×151cm	23.0kg
フレーム	スチール			
連結部品	PP			
天幕	糸入り透明ターポリン 材質:PVC 厚み:0.25mm			
高さ調節	三段階調節 (204cm、209cm、214cm)			
別売りオプション	加重プレート (10kg・20kg)、砂袋 (15kg用)、ウェイトバッグ (10kg用)、日除けカバー、ペグ、ペグ収納袋、ロープ、かんたんキャリア、補修テープ、張網セット			

スイデン商品についてのお問い合わせは、お買い上げの販売店または、お客様相談室へどうぞ！

お客様相談室 フリーダイヤル ☎ **0120-285-240**

Eメールでのお問い合わせは info@suiden.com

株式会社 **スイデン** 〒543-0062 大阪市天王寺区逢阪2-4-24 ホームページ <https://www.suiden.com>

クーラーテント 取扱説明書

SS-TNT-1212T-C

SS-TNT-1818T-C

● 梱包内容

- ① 本体フレーム・・・1個
- ② 天幕・・・・・・・・・・1個
- ③ 本体収納バッグ・・・1個
- ④ 取扱説明書（本紙）1枚

この度はお買い上げいただき、ありがとうございます。

本取扱説明書は、必ず最後までお読みください。
必要なときに誰でもが読める場所へ、必ず保管してください。

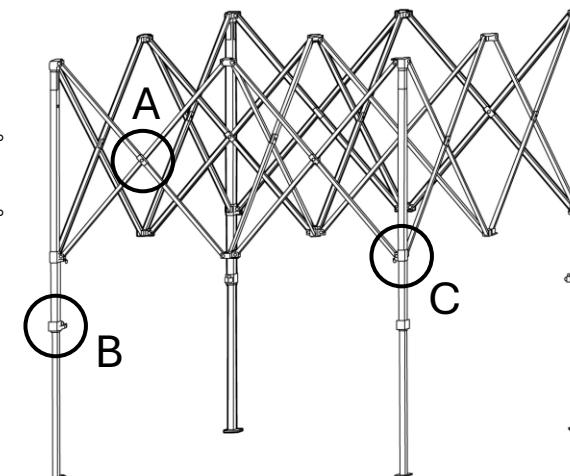


【安全に組立て・ご使用をいただくために】

- 警告** ・ 取り扱いを誤った場合、死亡、重症を負う可能性があります。
- 注意** ・ 取り扱いを誤った場合、人が傷害を負ったり、物的損害発生の可能性があります。

● 組立て時

- ・ 組立ては必ず大人2人以上で声掛けをしながら作業を進めてください。
- ・ 組立ては、手袋をし、手や指つめに注意してください。
- ・ 組立ては、水平かつ十分広い場所で行ってください。
- ・ 手や指をつめやすい箇所を右図に○印をつけています。
図A：閉じたり開いたりするときに注意。
図B：柱の足を伸ばしたり、縮めたり、ロックするときに注意。
図C：フレームを広げたり、縮めたり、ロックするときに注意。
- ・ フレームのロック部品に異常がないか、組立て時および定期的に点検してください。



● ご使用時

○ 使用環境

- 注意** ・ 使い勝手を考慮して天幕には薄手の生地を使用しています。過度な負担がかかる環境での設置や使用はテントの寿命を著しく縮める場合がありますのでご了承ください。
- 注意** ・ 高温、多湿の環境でご使用の場合は、クーラーテントの天面等の結露にご注意ください。テントの天面外側に結露水がたまる場合やテント内側から水滴が落下する場合があります。冷風ダクトの冷風方向を変えると緩和される場合があります。

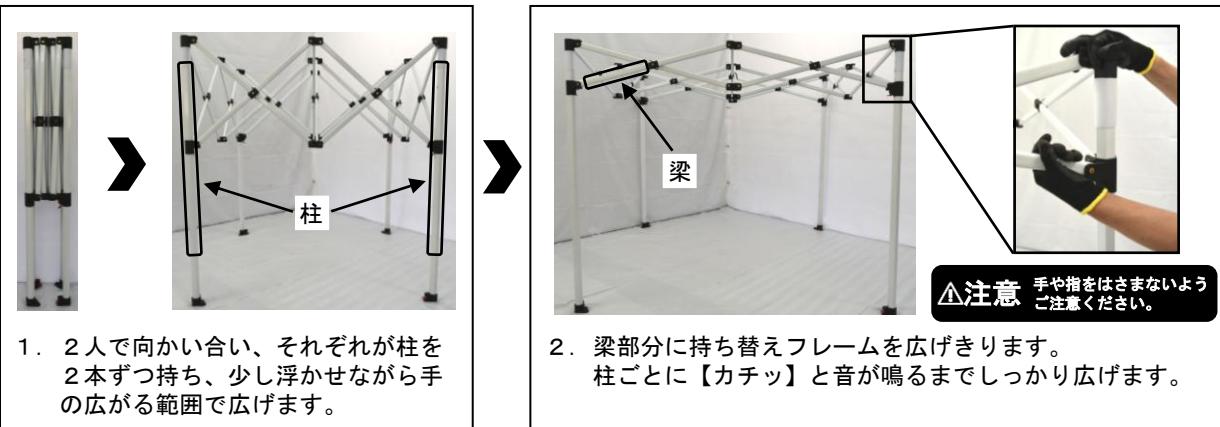
○ 使用時の注意

- 警告** ・ 設営時は、水平な場所に設置し、必要に応じて別売りの「荷重プレート」「ウェイトバッグ」「砂袋」または「ロープ」「ペグ」等でしっかり固定してください。
- 警告** ・ 上に登ったり、ぶら下がったりは絶対にしない。倒壊や破損も含め重大な事故につながる場合があります。
- 警告** ・ 本品には火気類を近づけない。火災の原因になります。フレームの金属部分に電源類を接触させない。感電などにつながる場合があります。
- 注意** ・ 重量物であることを踏まえ、倒れや運搬、移動での腰への負担などに注意してください。

【安全事項を事前に十分確認の上、組立て手順に進んでください】

【テントの組立方法】

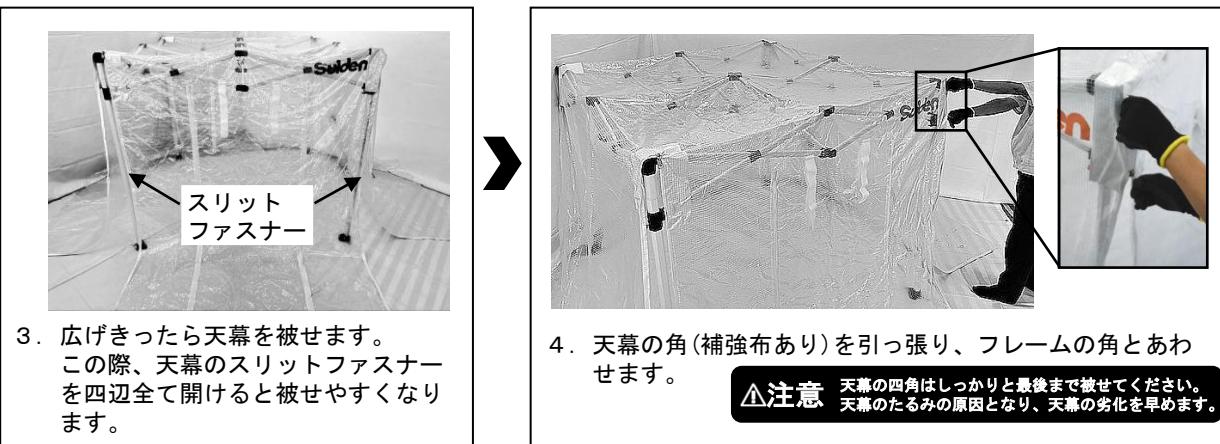
※写真は「SS-TNT-1818T-C」を例に説明しています。テントの大きさに違いはありますが、他のサイズも組立手順は同じです。



1. 2人で向かい合い、それぞれが柱を2本ずつ持ち、少し浮かせながら手の広がる範囲で広げます。

2. 梁部分に持ち替えフレームを広げきります。柱ごとに【カチッ】と音が鳴るまでしっかり広げます。

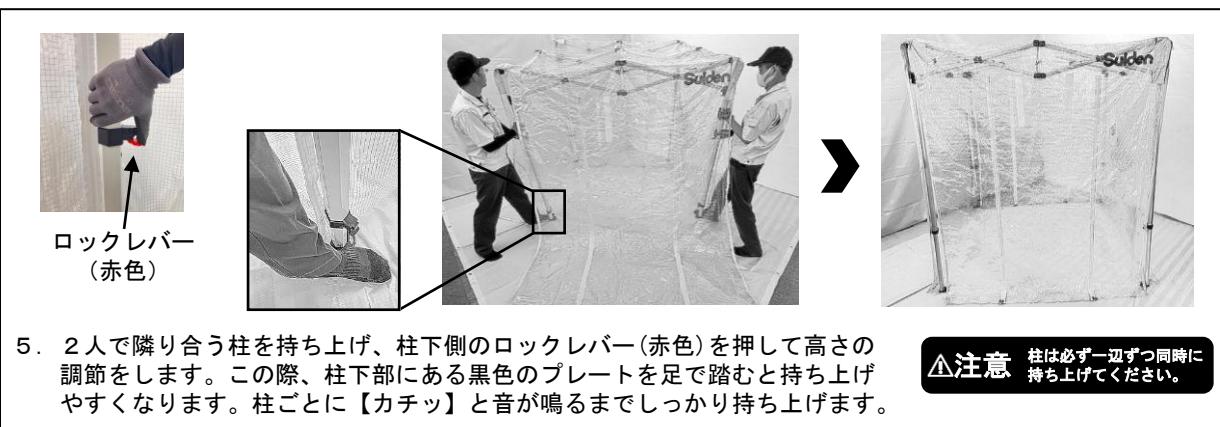
△注意 手や指をはさまないようご注意ください。



3. 広げきったら天幕を被せます。この際、天幕のスリットファスナーを四辺全て開けると被せやすくなります。

4. 天幕の角(補強布あり)を引っ張り、フレームの角とあわせませます。

△注意 天幕の四角はしっかりと最後まで被せてください。天幕のたるみの原因となり、天幕の劣化を早めます。



5. 2人で隣り合う柱を持ち上げ、柱下側のロックレバー(赤色)を押して高さの調節をします。この際、柱下部にある黒色のプレートで足を踏むと持ち上げやすくなります。柱ごとに【カチッ】と音が鳴るまでしっかり持ち上げます。

△注意 柱は必ず一辺ずつ同時に持ち上げてください。



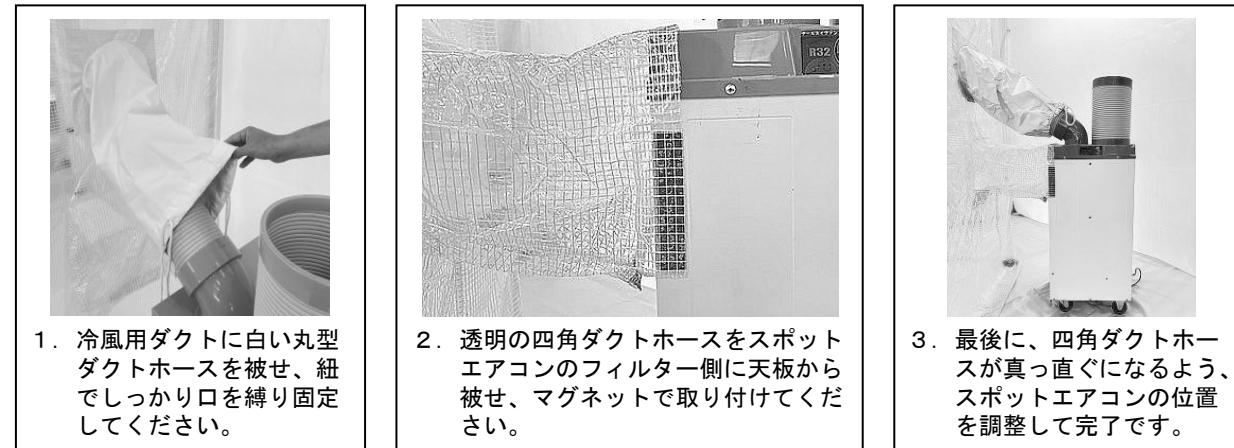
6. 天幕のスリットファスナーを閉めればテントの設営は完了です。

【出入口を固定する】



出入口の幕を巻き上げて、面ファスナーで固定する。

【スポットエアコンの接続方法】



1. 冷風用ダクトに白い丸型ダクトホースを被せ、紐でしっかり口を縛り固定してください。

2. 透明の四角ダクトホースをスポットエアコンのフィルター側に天板から被せ、マグネットで取り付けてください。

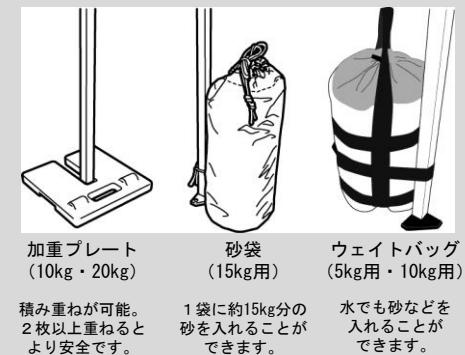
3. 最後に、四角ダクトホースが真っ直ぐになるよう、スポットエアコンの位置を調整して完了です。

ここまで完成した時点で、次の事項を確認し、異常のある場合はテントのご使用を中止してください。また対応につきましては、お買い求めになった販売店へお問い合わせください。

- 天幕は破れていませんか？
- フレームは曲がっていませんか？
- 天幕はたるみなく張れていますか？
- 本体フレームの各ストッパーは、きちんと固定されていますか？

【テントを固定する】

テントの固定に「加重プレート」「砂袋」「ウェイトバッグ」などの別売りオプション品をご利用ください。



加重プレート (10kg・20kg)
積み重ねが可能。2枚以上重ねるとより安全です。

砂袋 (15kg用)
1袋に約15kg分の砂を入れることができます。

ウェイトバッグ (5kg用・10kg用)
水でも砂などを入れることができます。

【テントの収納方法】

※最初に、別売りの「加重プレート」「砂袋」「ウェイトバッグ」「ロープ」をご使用の場合は取外します。また、ペグ等をご使用の場合はすべて抜き取ります。

1. 柱下側のロックレバーを押してロックを解除し、柱を一番下までスライドさせます。

△注意

- 柱の連結部で手や指をはさむ恐れがあります。ロックレバーより下側の柱は持たず、上側の柱を持ちスライドさせてください。
- バランスを崩してテントが倒れる恐れがあります。柱は必ず、二人で一辺ずつ同時にスライドさせてください。



2. 梁と柱の連結部のロックレバーを押してロックを解除し、本体フレームを浮かせながら少し縮めたら、天幕を取外します。

△注意

- 梁と柱の連結部のロック解除の際、手や指をはさむ恐れがあります。しっかり梁を持ったままロックを解除してください。



3. 柱を持ち本体フレームを縮めます。最後に、本体収納バッグへ収納し完了です。